

I. 文化を創造・鑑賞・支援する 人材の充実・育成

① 子ども・青少年とともに、子どもに関わる 大人も一緒に楽しめる芸術の創造、鑑賞等 体験機会の充実

- 子ども、親、学校等がともに楽しめる美術館等企画の実施
- 芸術、伝統、生活各文化の鑑賞、体験など親子イベント開催支援
- 子どもが主体的に文学に触れあう機会の充実
- 全国レベル、世界レベルの芸術文化等に触れる機会の拡充

<主な事業>

- ・県美術館教育普及事業(親子向けワークショップ実施)
- ・美術館へおいでよ事業(学校を対象とした美術館鑑賞講座等)
- ・たてはく探検隊開催事業(立山の歴史・文化に係る体験学習)
- ・「雲の向こうはいつも青空」事業(幅広い世代が文学に親しむ場)
- ・次世代音楽ふれあい事業(0歳から入場できるコンサート)
- ・利賀サマーシーズン開催事業 など

② 学校教育との連携、芸術文化指導者の 派遣などを通じた、子どもや若手芸術家の の育成

- オンライン配信やアーカイブ等ICTを活用した教育活動の展開に合わせた連携の推進や、学校等での出前公演などアーティストの活動・発表の場の拡大

- 県民ニーズに対応した芸術文化指導者の派遣
- 学校部活動の地域移行に向けた文化部指導者の確保等を支援
- 地域の行事や伝統芸能などの担い手となる後継者育成を支援

<主な事業>

- ・とやまアーティストマッチング事業(県民の依頼に応じ芸術家を派遣)
- ・地域部活動推進支援事業(人材バンク整備など指導者確保支援)
- ・県・国指定文化財保存等補助金(保存会等の取組み支援)など

③ 技術スタッフ、キュレーター等文化芸術を 支える人材の育成

- 県立美術館におけるキュレーターなど、文化芸術の振興を担い、支え、付加価値を創出する人材の育成

- 文化施設におけるサポーター組織やNPO、企業等と連携した事業企画や運営等の取組みを強化するとともにボランティア向け研修制度の整備など県民参加を促進

<主な事業>

- ・県内公立文化ホールにおける人材育成支援事業
- ・北陸三県学芸員交流事業(学芸員相互交流による資質向上)
- ・文化ボランティア等養成事業 など

II. 文化芸術による 地域活性化の推進

① 本県の豊かな文化資源の活用、魅力発信 広域連携による周遊観光の促進 ～文化観光の推進～

- 観光客や県民を対象とした有形・無形の文化財めぐりなどの周遊観光の促進
- 黒部宇奈月キャニオンルートをはじめ、電源開発の歴史や立山信仰の発信による立山黒部周辺の文化観光の推進
- 日本三霊山をテーマとした石川(白山)・静岡(富士山)との文化・学術研究、観光面での広域連携の推進
- 有形文化財の保存修理、無形文化財の保存継承の推進と発信
- 教育、文化観光その他関連分野の中核としての県内文化施設の機能強化
- 多言語解説、キャッシュレス対応などインバウンド対応の推進

<主な事業>

- ・とやまの文化魅力発信・周遊促進事業(バスツアー造成支援など)
- ・日本三霊山魅力発信事業(三霊山をテーマとした企画展示等)
- ・敦賀開業・北陸DCに向けた北陸3県・JR西との誘客促進事業
- ・文化財建造物等活用推進事業(文化財の美装化、防災化) など

② 富山を舞台とした特色ある国際的な芸術 文化振興事業の充実と発信

- 質の高い舞台芸術をはじめとした国際文化交流事業を開催するとともに、芸術文化団体等による取組みを支援

<主な事業>

- ・利賀サマー・シーズン開催事業
- ・とやま世界こども舞台芸術祭開催支援事業
- ・世界ポスタートリエンナーレとやま開催事業
- ・南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ開催支援事業 など

③ 文化力を生かした産業の高付加価値化

- 富山ならではの地域文化や伝統文化、地域に根差した芸術文化を活かした産業振興の取組みの推進
- 若手工芸作家の育成や作品制作・発表機会の創出
- 学校教育や社会人向けリスキリング教育においてSTEAM教育など学際的な学びを通じた人材育成を推進

<主な事業>

- ・とやまKOGEI学生チャレンジプロジェクト事業(学生との共同制作)
- ・とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業(県立学校でのSTEAM教育や地域連携活動を推進)
- ・とやま人材リスキリング補助金(県内企業の従業員教育支援) など

III. ウイズコロナ、アフターコロナを 見据えた芸術文化の振興

① 美術館、博物館等における情報通信技術を使ったオンラインでの鑑賞・学習機会の の充実

- 美術館等の収蔵作品等のデジタルアーカイブ化
- 美術館等の企画展の3D化、デジタルミュージアム化を推進

<主な事業>

- ・富山県美術館デジタルミュージアムオープン事業(収蔵品のデータベース化などデジタルミュージアムを構築)
- ・文学館資料整備費(文学作品をデジタル化し、ウェブ公開)など

② 美術館等におけるリアルでの鑑賞を促す 取組みの充実

- ICT技術を活用した美術館、博物館等の展示機能の強化
- SNSやデジタル広告などICT技術を活用したPR充実
- 美術館等の魅力を伝える動画配信の充実や展示作品の限定公開、ミュージアムコンサートをはじめとしたイベント等によるユニークベニューとしての活用など新たな魅力づくり

- 外国人を含む入館者数増のための施策の推進

<主な事業>

- ・文学館展示デジタル化事業(文学作品展示方法のビジュアル化)
- ・美術館等におけるSNSを活用した情報発信事業(ターゲットに合わせた情報発信)
- ・「ゆかりの作家ライブラリー」事業(作家等のインタビュー動画など新たな展示物制作)
- ・次世代音楽ふれあい事業(ミュージアムコンサート) など

③ 文化芸術活動の継続支援

- 公立文化ホールにおける適切な感染拡大防止対策の実施
- リモートや多拠点化に対応した公立文化施設の機能充実・強化
- 企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等、多様な財源確保策の周知及び活用促進
- 感染拡大の状況に応じた適時適切な支援

<主な事業>

- ・芸術文化振興基金事業費補助金(ICTを活用した芸術団体の活動を支援) など